

「全国労働衛生週間」

今年も10月1日から全国労働衛生週間が始まります。昭和25年の第1回実施以来、今年で第67回を迎えます。この週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた働く人たちの健康確保に大きな役割を果たしてきました。今年のスローガンは「健康職場 つくる まもるはみんなが主役」です。全国労働衛生週間中に実施する事項は次の通りです。

①事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視。②労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示。③労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰。④有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施。⑤労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施です。

9月1日から30日までの準備期間では、日常の労働衛生活動の総点検を行うことになっています。重点事項は、①ストレスチェック制度の確実な実施。②一定の危険・有害な化学物質に関するリスクアセスメントの着実な実施。③職場における受動喫煙防止対策の推進です。さらに、④その他の重点事項として、腰痛予防対策や溶剤、薬品等による薬傷・やけどの防止等があります。詳細は「平成28年度全国労働衛生週間実施要領」でご確認下さい。健康で安心・安全な職場づくり・現場づくりに努めましょう。※次号の「安全と衛生」は10月15日に発行予定のため少し早めに全国労働衛生週間をご案内いたしました。

木古内中学校 グラウンド 整備ボランティア



8月3日、当社が施工中の函館江差自動車道木古内町新幸連川橋下部外一連工事を担当する社員や協力会社を中心となって木古内町立木古内中学校のグラウンド整地と側溝清掃のボランティア活動に取り組みました。

木古内中学校のグラウンドは、わだちができ生徒の転倒事例があったほか、体育館脇の側溝は土や小石、ゴミがつまり、水はけが悪化していました。わだち部分はバックホーで表土を削り、砂を入れるなど不陸整正しローラーで転圧。側溝はスコップで土砂を取り除くなど約100㎡区間を整備しました。

木古内中学校からも感謝していただき、木古内町教育委員会の野村教育長から感謝状を授与されました。



安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成27年8月12日
http://www.tonuma.com/
第217号

前期 内部監査



内部監査を実施しました。当社のマネジメントシステムが、適切に運用され、実効ある成果が得られているかを検証します。

当社はマニュアルで年2回、内部監査の実施を規定しています。9月には外部審査を控えています。

全社的な問題点を洗い出しておく必要があります。

社員同士が互いの施工活動を監査することによって、ISO規格への理解を深めると共に、自らの活動に不足する点を発見するのに役立つものと思います。

内部監査は現場から部門へ移り、管理責任者へのインタビューで終了します。収集された監査データは、社長が主催するマネジメントレビューに反映されます。



第62回構造工学シンポジウム論文賞

函館工業高等専門学校社会基盤工学科の平沢秀之教授が第62回構造工学シンポジウム論文賞を受賞しました。受賞論文「応急橋に適した木製トラス橋の開発とリユース」は、戸沼社長も共著者の一人として論文作成に協力しました。

この論文は、災害復旧用の応急橋として平成21年から研究開発され、その後八雲町で供用されるまでの設計施工について取りまとめたものです。今回の受賞は、構造工学論文集編集小委員会による審査に基づき、今年度は124編の論文の中から3編が論文賞に選定され、6月29日に土木学会土木会館で開催された授賞式で授与されました。

尚、共著者は戸沼社長の他、小澤暁栄氏（有限会社小澤建設）藤田好彦氏（八雲町建設課）渡辺浩氏（福岡大学）鈴木譲氏（有限会社すずき金物）の皆さんです。



ご紹介！ 札幌営業所 三盃 治 所長



三盃所長は昭和31年9月、函館市生まれ。昭和50年3月、函館工業高等学校建築科を卒業、同年4月国鉄青函局に入社。昭和62年国鉄を退職し、北海道に入庁。釧路支庁林務課治山係を最初に、日高・檜山・渡島の各支庁と道庁で治山事業や公園等の施設整備、檜山振興局や胆振総合振興局林務課の検査専門員として活躍され、平成28年3月、釧路総合振興局森林室森林整備課長を最後に退職。同年4月、戸沼岩崎建設株式会社に入社しました。趣味はスポーツ観戦。北海道日本ハムファイターズの熱烈なファンです。「入社して4ヵ月。社員一人ひとりが工事の安全とコストを意識し行動していることに感心しています」と語っています。

「川ガキ教室」in 川汲

北海道魚道研究会は、川汲川をフィールドに、函館地域の子も達とその保護者の方を対象に川に棲む魚と昆虫の関わりや、幼虫から成虫への変化などについて体験から学び合う「川の生き物勉強会」を開催しました。

8月7日(日)午前10時、川汲公



園に28名が集まりました。木々の緑と川汲川が快適な環境をつくり出します。子どもたちは、ペットボトルで魚のワナを作ったり、笹舟を作って川の流れでレースをしたり、また、川に入って川虫を発見したりと楽しいひと時を過ごしました。

第51回湯の川温泉 花火大会

湯の川温泉花火大会は、函館の納涼祭りとして親しまれています。源泉などから採った湯を奉納する「献湯式」が湯倉神社で行われます。花火は松倉川下流付近から打ち上げられ、津軽海峡沖に浮かぶイカ釣り漁船の漁火と共に晩夏の夜空を彩ります。

◇日時：8月20日(土) 19:40~20:40

◇場所：松倉川下流

※荒天時は8/21(日)→8/22(月)→8/23(火)に延期。

